キャラクター名
七橋　茜（ななはし　あかね）

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	ワークス	主婦・主夫	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	１５歳	性別	女性
覚醒	感染	衝動	闘争	初期侵食率	44 %
出自	不明	経験	大きな転機	邂逅	賢者の石

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	0			2
精神	4	0	1			5
社会	0	1	0			1

HP	29
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	7		交渉	2	
回避			知覚			意志	1		調達	3	
運転：			芸術： 料理	2		知識：			情報： 噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				
		0				
		0				
	ＲＣ	15r+7		5		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
携帯端末	
制服	
私服	
Ｓランク：スペシャリスト	
ストレンジフェイズ	
コネ：UGN幹部	
コネ：要人への貸し	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
賢者の石「レネゲイドクリスタル」	P 好奇心	N 不安		
孤児院	P 慈愛	N 不安		
同級生	P 友情	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8	残り財産P： 6

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセ：ウロボロス	3	2						
効果：								
魔獣の衝撃	7	3	メジャー	視界		RC		
効果： 攻撃力＋５の射撃攻撃　ダイス＋Ｌｖ　１Ｒ１回								
メモリー	1							
効果：								
妖精の手	4	5	オート	視界	単体	自動		
効果： 判定を一つ１０に変える　１シナリオＬｖ回								
リミットリリース	1	8	オート		自身	自動	100↑	
効果： 判定Ｃ値－１（下限５）１シナリオ１回								
混色の氾濫	5	2	メジャー		範囲（選択）			
効果： 原初系を範囲に　１シナリオＬｖ回								
世界を喰らうもの	1	5	メジャー	視界	シーン（選択）		リミット	
効果： 混色の氾濫と同時に使う　使用時ＨＰ２０点消費　１シナリオ１回								
異世界の因子	1	7	オート	視界		自動		
効果 :登場したシーン内で使用されたエフェクト一つを使用したシーンの間取得、エフェクトのレベルは１とする。制限：ピュアのエフェクトは取得できない。１シナリオ１回								
七色の直感	1		メジャー					
効果： オーラによって対象の感情や負傷、病気の変化を読み取る								
消去の号令	1	3	メジャー	至近	単体			
効果： ＲＣ対決で勝つと相手のＥＥを解除させる。								
シャドウダイバー	1	2	メジャー	至近	単体			
効果： 影に触れた相手の感情を知ることが出来る								
効果：								
効果：								

ある日、流れ星が落ちて来た。その星に触れた時、私は世界の真実を知ったのです。ガーネット（ぎくろ石）を影に宿すピュアウロボロス
「七橋　茜です。よろしくお願いします！」「ピュアブリードとか専門用語はわかりづらいですよ～」「家庭料理には自信があるんです！」
「孤島にある学校…わくわくしますね！頑張って立派な超能力者になりますよー！」「なるほど、ぎくろさん（短剣）はそう思うんですねー」

性格は生真面目で誰にでも敬語で話してしまう癖がある。特に親しい相手には口調を崩す事があるが滅多に見られない。
昔孤児院に置いていかれたと院長から聞いていて自分を育ててくれた孤児院のスタッフには深く感謝をしている。
普段から家事をこなしながら学業にも励む優等生として教師やクラスメイトからは頼りにされることが多かった。
そんなどこにでもいる女の子だったのだが。帰り道の途中に流れ星が落ちて来てソレを拾った瞬間、オーヴァードに覚醒してしまった。
孤児院の院長がＵＧＮにコネを持っており混乱などなく保護された。検査をした結果ピュアウロボロスで賢者の石の保有者という結果に。
「君は本土に居てはいけない」　検査した支部では抱えきれない能力という事でいろいろと話し合った結果、アカデミアに送られる事になった。
茜個人の知識や認識は一般人とほぼ変わりなく、本人はちゃんとした知識をつける事にやる気を出している。
彼女が保有している賢者の石はナイフの形をしたガーネットであり、普段は茜の影の中に溶け込んでいる
有事の際に影から茜の手元に飛んでくる　このガーネットが落ちてきた流星である

流れ星を拾ったのは中学卒業後　高校の入学式の一週間前
中学生時代の同級生たちと同じ学校に入学する予定でしたが覚醒直後のアレコレでそうならなくなり、アカデミアに行く事が決まったあたりで一部を除く関係者には記憶処理が行われて　茜のことを覚えている一般人はほぼ居なくなっている　この事は茜本人も知っている

本人は知らないが検査したＵＧＮの研究員と支部長の意見は
「生きた爆弾のような存在だ」「出来れば賢者の石だけ残して消えてほしい」「流星の欠片だけ確保したいが人体が邪魔だ」である
彼女が死亡した場合、ＵＧＮが死体と賢者の石を確保するように手配もされている